
プロジェクト 第 3 次アジェンダ協議

項目 第 464 回企業会計基準委員会で聞かれた意見

本資料の目的

1. 本資料は、国際会計基準審議会（IASB）が 2021 年 3 月に公表した情報要請「第 3 次アジェンダ協議」（以下「本情報要請」という。）に関して、第 464 回企業会計基準委員会（2021 年 8 月 30 日開催）において聞かれた主な意見をまとめたものである。

コメント・レターの文案について

（IASB の作業計画に追加される可能性のある財務報告上の論点）

キャッシュ・フロー計算書及び関連事項について

2. 事務局提案に賛成である。キャッシュ・フロー計算書についての問題意識を提起する意図であれば、コメントは建設的であり、意味があると考ええる。
3. 基本財務諸表であるキャッシュ・フロー計算書は維持すべきであり、業種によって基準の適用に違いを設けるべきではないことから、キャッシュ・フロー計算書の削除を想起させるコメントは避けるべきである。
4. キャッシュ・フロー計算書を削除した場合、代替的な情報について他の箇所で注記するなどの手当てが必要になると考えられる。
5. すべての財務諸表利用者が、特定の業種においてはキャッシュ・フロー計算書の情報を利用していないという誤解を与えかねないため、表現は見直すべきと考える。

以 上